



【平成30年度・第2次筆記試験】

事例Ⅰ（組織・人事戦略） 模範解答例

（この解答例は、11月4日10:00 現在のものです）

第1問（配点20点）

理由は、①有形資源に限りがあるので、コストリーダーシップ戦略よりニッチ市場に向けた集中戦略が有効であるため、②センサー技術等の無形資源を有するので、研究開発型企业として差別化戦略を採れるため、である。（100字）

第2問（配点40点）

（設問1）

理由は、①社員の大半が技術者なので、受け身の製品開発が中心となり生産者志向の組織文化が根付いたため、②営業職などの人員が少なく、最終消費者向けのマーケティングを行う組織体制が不足していたため、である。（100字）

（設問2）

違いは、①複写機以前の事業は、開発した製品を販売した時点で取引が完了する売切り型であるのに対し、②複写機関連製品事業は、再生品や内部部品、消耗品販売などで継続的に安定した収入源を得られることである。（100字）

第3問（配点20点）

目的は、①技術者の混成チームにより各グループが独立して製品開発を行うことで、市場の変化に迅速に対応するため、②役員に部門長を兼任させることで、社長の後進として事業を委ねる人材を育成するため、である。（99字）

第4問（配点20点）

取り組みは、①チャレンジ精神維持のため、社員に地域内外の企業との共同プロジェクトへの参画機会を与えること、②独創性維持のため、勤務時間の一部を自由な研究開発に充てることのできる制度を設けること、である。（100字）

文責：AAS 東京 早坂健治

2次試験で悩んだら、ぜひAAS東京へお越しください！

本科講座や合格判定合宿、アシストゼミ、公開模試の開催を通して、
中小企業診断士2次試験への「明確な事例解法」を提供しています。
診断士受験生応援ブログ「合格アミーゴス」も毎日執筆中です！

aas 東京

検索